

会員（社員）の皆様へのお知らせ：2016年ヨーロッパスポーツ会議(ECSS)におけるECSS-JPFISM(日本体力医学会)交流シンポジウムの企画案公募について

会員の皆様には益々ご健勝のことと思います。

さてこれまでECSSとは毎年本会からシンポジストの派遣を行いこれまでに16回に及ぶ交流シンポジウムを開催して参りました。これまでにご参加いただいた会員の皆様には深く感謝を申し上げます。さて本年1月に開催されたECSSのプログラム委員会において全てのECSSシンポジウムについて開催1年半前の1月に開催されるプログラム委員会で審査を行うことが確認され、例外は作らないことが了承されました。その結果、唯一の例外であった本会との交流シンポジウムも事前審査の対象となることが決まりました。なお提案締め切りはプログラム委員会前年の11月になります。したがって今回の公募は2016年ECSS Viennaのシンポジウム企画になりますので、ご注意ください。

そこで、日本体力医学会としては、従来行っていたシンポジスト公募を廃し、新たに会員からECSS-JPFISM交流シンポジウムに相応しい企画案を公募することとします。企画案は渉外委員会が組織する審査委員会による厳正なる審査の上、ECSSに推薦する企画案を決定いたします。

採択された企画案一件については、参加者最大2名の旅費を20万円/名を限度に援助します。また参加費はECSSが負担しますので無料、宿泊費は開催地実行委員会の方針によって主催者負担になる可能性があります。残念ながら日本体力医学会で採択しなかった演題シンポジウム案については、ECSSの通常の手続きによってECSSにシンポジウム企画案を申し込んでください。万が一、日本体力医学会が推薦した企画案がECSSプログラム委員会で不採択になった場合、日本体力医学会の審査において次点以下のシンポジウム企画案でかつECSSプログラム委員会で採択されたものについて助成を行うこととします。

是非ECSS-JSPFISMの交流に相応しいシンポジウム企画の提案をお願いいたします。

平成26年9月12日 日本体力医学会 渉外委員会

1. 公募要領

- (ア) 応募資格：3年以上継続して日本体力医学会会員であり、未納会費がないこと。日本国内の教育・研究機関に所属する常勤の研究者であること。応募年度と応募翌年度(今回の場合2014年、2015年)にJSPFSM-ECSS交流シンポジストとして参加していないこと。またできるだけ多くの会員に機会を広めるため、審査において同点となった場合には、過去にECSSに参加していない会員の提案を優先することといたします。
- (イ) シンポジウム企画の条件：座長の背景説明、シンポジストの講演、討論を全て含めて90分。演者最大3名までとします。ただし企画提案には最大2名の日本体力医学会会員シンポジスト候補者名を本人の了承を得た上で記載してください。他1名はECSS側から企画案提出後にプログラム委員会で推薦され加わることになる。ただしあらかじめ、理由を述べた上で適切なECSS会員（日本人以外）を推薦することは可能です。なお原則として申請者が座長およびシンポジストを兼任することとします。なお座長をシンポジスト以外の日本体力医学会会員が務めることを希望する場合には、本公募時にその理由とともに付言すること。なお座長のみ務める会員には旅費助成は行いません。
- (ウ) 添付のPDFファイルの例にならった応募シートを作成すること。
- ① シンポジウムのタイトル（テーマ）、応募者の氏名、国籍。
 - ② シンポジウムの趣旨（ねらい）（Introduction）
 - ③ 座長の氏名、性別、職位、所属教育研究機関、国、E-mail
 - ④ 講演1のタイトル、講演要旨・要点、演者1の氏名、性別、職位、所属教育研究機関、国、E-mail.
 - ⑤ 講演2のタイトル、講演要旨・要点、演者2の氏名、性別、職位、所属教育研究機関、国、E-mail.
 - ⑥ 上記、座長、演者の氏名所属を除いて、趣旨、講演要点を全体で600語程度で記載してください。
 - ⑦ 申請者がECSS 会員ではなく、ECSSIDを持っていない場合には、ECSS提出時に渉外委員会メンバーが企画を代行して推薦します。

- ⑧ 内容はJSPFSM-ECSSの交流にふさわしい企画としてください。
文化的背景や生活習慣の違い、日本人の特徴、日本体力医学会の特徴などを生かした企画を歓迎します。
- ⑨ 非学会員をシンポジストに加えるのは差し支えありませんが、旅費の援助対象者は日本体力医学会会員に限定します。会員登録をお勧めください。
- (エ) 募集締め切り：平成26年10月17日(金)正午まで、提出先 渉外委員会委員長 永富良一 (nagatomi@med.tohoku.ac.jp) にメールで提出してください。タイトルには必ず「JSPFSM-ECSS交流シンポジウム企画案」と入れてください。
- (オ) 平成26年11月7日までに審査結果を通知します。採択されたシンポジウム案は、日本体力医学会渉外委員会よりECSSに提案します。残念ながら採択されなかったシンポジウム企画は是非、直接ECSS2016の **Proposal for invited symposia** に応募してください (平成26年10月1日にECSS 2016 Viennaで公募が始まります。締め切りは平成26年11月15日です)。
- (カ) 不明な点は渉外委員会委員長 永富 (nagatomi@med.tohoku.ac.jp) までメールで問い合わせてください。

以上

Title: Title of the symposium, **Type:** JSPFSM-ECSS Exchange Symposium, **Date:** 提出日
Submitter: ECSSID ???? ABCD, EFGH (name) - Japan

Introduction: This session will present an overview of the evidence of the influence of exercise and caloric intake on brain function and their impact on well being. Two eminent speakers will be part of this session: Professor EFGH, and Professor ABCD. Professor EFGH is the Chair of the Laboratory of Neurosciences, Institute of Brain Science. He is a leader in the area of neurodegenerative disorders investigation, and has made major contributions to understanding of the pathogenesis of degenerative neuronal diseases, and to its prevention and treatment. Professor ABCD from the School of Sport and Exercise Sciences, University of Sports is a leading expert in the field of nutrition and exercise, and their role in preventing and treating risks for life-style associated diseases across the lifespan. The topics of this session are extremely relevant for emphasizing the importance of lifestyle on population health and disease prevention. This session should be of interests of most attendants of the ECSS congress in XXX.

Chair: ABCD EFGH **Sex:** ??, **Academic title:** 職位., **Institution:** 所属研究機関, **Country:** Japan, **E-Mail:** xxxx@yyyy.jp

Lecture A: Title: Energy Intake and Exercise as Determinants of Brain Health.
Introduction: Professor EFGH will describe how dietary energy intake and exercise influence brain function. He will focus on evidence from animal and human studies that show how intermittent energetic challenges stimulate adaptive cellular stress responses in neurons that involve the production of neurotrophic factors. Dr. EFGH will consider the implications of these new research findings for health care policy and medical practice. (100-200 words)

Speaker: ACBD EFGH **Sex:**??, **Academic title:** 職位., **Institution:** 所属研究機関, **Country:** Japan, **E-Mail:** xxxx@yzab.jp.

Lecture B: Title: Does Exercise help the Wellbeing of Populations? **Introduction:** Professor ABCD will provide an overview of the evidence examining the role of exercise and physical activity in promoting wellbeing. She will focus on the complexities of defining and measuring wellbeing, and provide an overview of the types, duration and intensities of activities that may promote wellbeing. She will

EGSS-JSPFSM 交流シンポジウム企画案の例

also discuss how we might improve our approaches to researching and promoting programmes and interventions at a public health level.

Speaker: EFGH ABCD Sex:??, Academic title: 職位., Institution: 所属研究機関,

Country: Japan, EMail: xxxx@abcd.jp